家紋 家紋 ^{輪之內一文字二,} 高現米拾五石

祐 見庶流 春可

入をもつて 初上方邊に罷在5 処 田

浅草清光寺に葬○元和九年五月十七日死七十八円まりの慶長二年駿河より御供照宮へ召出され現米拾五石弐人

哲デ

寺に葬の寛永十九年九月三日死り元和九年七月家督御数寄居

八屋

十 方

歳同

→ □ — 月 月家 死 六 屋

可

同寺に葬れた年

口

宝六年十月三日平寛文九年家督父は 死 時 七の - 三歳同:

寺

同 〇 延寺 宝 宝 元末年十 ___ 十家督 日死五拾三才

勝

益池慶順勝忠次男

数寄屋方見習〇同年七 家 月

朔

/方医道心: 候由 [相聞候 向後御

子に罷成醫の を

れ成共

相頼

さ治

に 壹 も 仕

被仰渡誓帋は数の海野の神旨同の 向後大

敷

御廣敷

億院殿附○同月

成嶋道筑同格に五月四日醫道はへも罷越女中点 れ直に西流場道筑同い 精 に付同四 朋格仰 岡四本年 · 善 悦

©院殿へ初見○同見見守同道にて山思られ直に西丸へ思 御出茶小

袖拝領○寛延四年 御紋付

二年六月薨御 三御帷子二同 三御帷子二同

以下 略